

## 事前評価個表

整理番号	20
------	----

地域（地区）名	よしいがわ 吉井川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	岡山県	対象市町村	つやま 津山市ほか 10 市町村
事業実施期間	R5 年度～R9 年度（5 年間）	事業実施主体	県、市町村、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は岡山県東部に位置し、北部は標高 1,000m を超える中国山地を形成する急峻な地形が多く、中部は 500m 以上の山地や津山盆地などの高原地帯、南部は 100m 程度の小起伏の低山から瀬戸内海沿岸に続いている。</p> <p>民有林における人工林面積は 74 千 ha、天然林が 88 千 ha となっており、人工林率は 46% と県平均の 38% より高く、3～12 齢級の人工林が 66% を占めているが、奥地林等において整備の行き届いていない森林が存在していること及び持続的な木材の安定供給に支障をきたす齢級構成の偏りが課題となっており、森林の育成段階に応じた適切な保育や間伐、伐採後の適確な更新等の施業を着実に実施する必要がある。</p> <p>本地区の北部地域は本県の主要な林業地となっており、林道等の路網整備を実施することで、森林施業の効率化や木材の生産性向上が求められる地域である。</p> <p>一方、南部地域は気象や土地条件から天然アカマツ林が大部分を占めており、松くい虫の被害量は減少してきているものの依然として広範囲に被害が及んでいることから、伐倒駆除や樹種転換等による総合的な対策が求められる地域である。</p> <p>本事業は、関係市町村が策定した市町村森林整備計画との整合を図り、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるために必要な間伐や再造林等の森林整備及びこれらを効率的に推進するために必要な路網の整備を実施する。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：6,405ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、雪起こし、枝打ち、除伐、保育間伐、間伐、更新伐、森林作業道整備、付帯施設整備等</p> <p>路網整備：2,193m</p> <p style="padding-left: 40px;">林道開設、改良</p> <p>総事業費：3,747,862 千円（税抜き 3,407,148 千円）</p>
費用便益分析結果	<p><math>B/C = 3.62</math></p> <p>（総便益（B）=26,064,066 千円、総費用（C）=7,209,529 千円）</p>

評価結果	<p>必要性：公益的機能の持続的な発揮や CLT 等の新たな木材需要に対応するため、間伐を中心とした効率的かつ適切な森林整備が求められており、必要性が高いと認められる。</p> <p>効率性：費用便益分析の結果から十分な効率性が求められるとともに、路網の整備による効果的かつ効率的な森林整備を推進することとしており、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性：本事業による森林整備により、水源涵養、国土保全等の森林の有する公益的機能の持続的な発揮はもとより、木材の安定的な供給が図られることから、事業の有効性が認められる。</p>
------	--

## 便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

都道府県名：岡山県

地域(地区)名：よしいがわ  
吉井川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	5,800,240	
	流域貯水便益	1,706,912	
	水質浄化便益	6,606,612	
山地保全便益	土砂流出防止便益	5,188,480	
環境保全便益	炭素固定便益	2,176,428	
森林整備経費縮減等便益	木材利用増進便益	18,965	
	木材生産確保・増進便益	4,310,713	
森林整備経費縮減等便益	森林管理等経費縮減便益	363	
	森林整備促進便益	98,645	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	23,608	
維持管理費縮減便益		133,100	
総 便 益 (B)		26,064,066	
総 費 用 (C)		7,209,529	
費用便益比	$B \div C = \frac{26,064,066}{7,209,529} = 3.62$		

# 森林環境保全整備事業 吉井川地域(岡山県)

